

「血液疾患で移植治療を受ける AYA世代がん患者」の意思決定

造血幹細胞移植や小児がん治療の進歩に伴い、治療後の長期生存が増えている一方で、身体的・精神的・社会的な側面で様々な問題を抱えている患者さんも多く、治療終了後の生活の質（quality of life: QOL）の重要性が問われています。

今回セミナーでは、思春期・若年（AYA）世代がライフ・ステージ毎に迎える、意思決定のシーンに、がん経験が与える影響、本人・家族が直面する迷いや困難感に気づくための学びの場として開催します。特に、AYA世代がん患者の『患者中心の意思決定』について支援者として出来ることは何か、について考えることを目的としています。

移植後患者の診療を行っている行っていないに関わらず、血液診療に携わる全ての施設および職種の方、移植医療に興味のある方、小児・AYAがん診療に携わる方、皆様のご参加をお待ちしています。

|日程| **9 / 19** (Sat)
2020.

|定員| **150**名程度

|時間| **13:30～17:30**
(開場13:20)

|対象者| 血液内科診療に携わる方
小児・AYAがん診療に携わる方
研修医, 医学生, 看護学生

|参加費| 無料

|開催方法| **Web形式**

|申込| ・**必ず事前申し込みが必要です**
・以下申込URLよりお申し込み
ください

|申込URL|

<https://forms.gle/DBoGx54CQriT1aYa8>

|締め切り| **2020年9月16日 17:00**

参加登録後、登録されたメールアドレス宛に 接続用URL・PW を送信いたしますので、紛失しないようお願いいたします

厚生労働省 造血幹細胞移植医療整備事業 主催・小児がん拠点病院機能強化事業 主催
一般社団法人 AYAがんの医療と支援のあり方研究会(AYA研) 共催
第5回 AYA研 教育セミナー

文部科学省 多様な新ニーズに対応する『がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）』養成プラン 共催
思春期・若年成人（AYA）世代がん患者の包括的ケア提供体制の構築に関する研究班（清水班）共催
北海道・AYA世代がん患者・家族支援ネットワーク構築プログラム 共催

北海道大学病院 血液内科 TEL：011-706-8523 (info@hokudai-hct.org)

北海道大学病院 地域医療連携係 TEL：011-706-5629

「血液疾患で移植治療を受けるAYA世代がん患者」の意思決定

総合司会：北海道大学病院 小児科 助教 長 祐子

13:30～13:35 オープニング：一般社団法人 AYAがんの医療と
支援のあり方研究会 理事長 堀部 敬三

第一部 教育講演

座長：北海道大学病院 小児科 助教 長 祐子

13:35～14:25 教育講演1

「AYA世代患者の意思決定に関する心理学的知識」

東北大学大学院教育学研究科 准教授 吉田 沙蘭

14:25～15:15 教育講演2

「AYA世代がん患者・家族の意思決定における実際

～AYA支援の現場から造血器腫瘍患者・家族に向けたケアの実際～」

静岡がんセンター がん看護専門看護師 津村 明美

15:15～15:35 質疑応答

15:35～15:50 休 憩

第二部 対談

聞き手：北海道大学病院 看護師長 石岡 明子

15:50～16:50 経験者と医療者の対談

「AYA世代の経験談から意思決定支援の二一ズを考える」

経験談：水本 健人、星野 希実

16:50～17:20 総合討論・質疑応答

お知らせ

座長：北海道大学病院 小児科 助教 長 祐子

17:20～17:25

造血幹細胞移植連携支援センターからのお知らせ

北海道大学病院血液内科 助教 後藤 秀樹

17:25～17:30

クロージング：北海道大学病院 小児科 教授 真部 淳